

てらやほけんだより

朝晩は涼しくなってきましたが、日中は夏のように暑い日もあります。脱ぎ着しやすい薄い上着等で調節し、半袖と長袖を上手に使い分けて体調を崩さないように過ごしましょう。

先月頃より、園児や園児のご家族に感染症に罹る方が出てきています。感染症に罹った時の経過等、再度確認をお願いいたします。

インフルエンザやコロナに
感染する方が増えてきています。

園児が感染症に罹った場合、登園停止期間があります。

インフルエンザに罹った場合
発症した後5日を経過し、かつ、
解熱後3日を経過するまで

コロナに罹った場合
発症した後5日を経過し、かつ、
症状が軽快した後1日を経過すること
〔無症状の場合、検体採取日を0日目として、〕
5日を経過すること

**送迎するご家族がインフルエンザやコロナ等、
登園停止になるような感染症に罹ってしまった場合**
園児は、症状がなく元気であれば登園出来ます。
しかし、**感染している送迎の方は、保育園内に入って頂く
事が出来ません。**感染している方、又は感染の可能性がある
体調の優れない方が送迎する場合には、保育園にご連絡
を頂きますと、登園・降園の方法についてお知らせ致します
ので、お問い合わせください。
保育園は、0歳児の小さなお子様から通っております集
団の施設です。園内での感染対策にご理解とご協力をよろ
しくお願いいたします。

薄着の習慣は秋からスタート

肌寒くなってくると、つい子どもに厚着をさせたく
なりませんが、子どもは意外と寒さに強いもの。
冬に向けて抵抗力をつけ、丈夫な皮膚を作ってい
くためにも、今から薄着を心がけていきましょう。

薄着で過ごすコツ

- 寒いときは薄手の上着で調節する
- 肌着を着て保温する
- おなかと背中が出ないようにする



大人より「少し遅く」「1枚少なく」!

大人が「長そでを着よう」と思ったとき、子どもは長そでにするのを少し遅らせる。大人が重ね着するとき、子どもは1枚少なく着せる。こうすると、自然と薄着が習慣づけられます。

10月10日は 目の愛護デー

子どもの目は毎日発達していて、両目の視力機能は6歳頃にほぼ完成すると言われています。その後視力が低下するのは、幼い頃の姿勢や体の動かし方が関係しているそうです。自然の中で十分に遊ばせ、外の景色をたくさん見せることでお子様の視力を育てていきましょう。

こんな見方は危険信号!

- テレビや絵本に近付いて見る
- 明るい戸外でまぶしがる
- 目を細めて見る
- 上目遣いに物を見る
- 目つきが悪い、目が寄っている
- 見る時に首を曲げたり、頭を傾けたりする



このような症状が見られると斜視や弱視の可能性が考えられます。子どもは視力が悪いことを自覚できないため、上記のような症状がないか普段から気にかけて見るようにしてください。